



令和6年9月25日

10月 調布幼稚園だより



『こども広場』を終えて

園長 山形美津子

ようやく秋の訪れを感じる季節になりました。空の雲や吹く風が変わってきたことを感じます。

9月号の園だよりでは行事を通して育つことについて書かせていただきましたが、2学期最初の大きな行事『こども広場』を9月19日、20日に開催することができました。

『こども広場』は、年長組がクラス毎にテーマを決めてアトラクションを作り、未就園児や年少組年中組を招き、交流をするという催しです。

今年度は数年ぶりに地域の未就園児を招いて『こども広場』を行うことができました。初日に未就園の小さな子どもたちが大勢来園して下さり大盛況でした。年少組の子どもたちも年長組の部屋や保護者の手作り作品の部屋を訪ね、目を輝かせていました。2日目は年中組の子どもたちが年長組の部屋に行っておたくさん遊ばせてもらいました。また、年長組の子どもたちも他のクラスの部屋を巡り、クラスの枠を超えてお互いに交流することができました。

『こども広場』を行うにあたって、年長組がねらいとしていたことは、それぞれのアトラクション作りを通して、友達と相談したり、協力したりして作り上げる達成感や満足感を味わうこと、小さな子どもたち（未就園児、年少組年中組の子どもたち）と交流する中で思いやりの気持ちを育んでいくこと、小さい子どもたちは年長組のお兄さんお姉さんと接する中で憧れの気持ちを抱いたり、次は自分たちもやってみようと思ってもらおうこと等です。

うめ組は『スペース・アドベンチャーワールド』です。プラネタリウムに出かけた次の日から宇宙の世界が作りたい、宇宙ごっこがしたいと言っていたうめ組です。部屋に一步足を踏み入れるとステンドグラスのようなきれいな宇宙の世界が広がり、宇宙旅行ができる部屋で宇宙人になった年長組の子と出会います。宇宙旅行の行き方を一生懸命説明してくれて最後には宇宙船やUFOに年長さんが乗せてくれて大喜びの年少組年中組でした。

もも組は『忍者村』です。1学期から好きな遊びの中で忍者になりきって遊ぶ姿が見られました。忍者の修行のミッションを計画しました。一本橋の修行、暗闇ゾーン、迷路ゾーン等、いろいろなゾーンを作っていました。年少年中組の子は年長さんに「こうやって進むんだよ」と教えてもらい、次々とクリアして、最後には忍者の免許皆伝となる仕組みです。クリアできた年少組年中組はお土産の手裏剣をもらい満面の笑顔でした。

ふじ組は『めざせ、宝島！！』です。1学期から積み木や巧技台をつかって海賊ごっこをしていたふじ組はアトラクションを考える中でイメージが共通になり、アイデアがどんどん湧いてきたそうです。海賊船に乗る前にルーレットを回して出たものを探したり、楽しいミッションがたくさん工夫されたりしていました。一つ一つを丁寧に教えて誘導してくれる年長さんに従って、イルカのボートに乗せてもらったりいろいろなゲームに挑戦したりするなどしてプレゼントの宝石の指輪をもらい大喜び、ゲームはもう一回やりたいと戻ってくる年中組もたくさんいました。

2日間の取り組みを通して、年長組の子どもたちは、自分より小さい子どもたちや友達に遊び方を説明したり「入り口はこっちですよ」「こうやって遊んでね」等、とてもやさしく接していました。また、自分たちが作ったアトラクションの説明をととても上手にしていました。異年齢の子どもたちがこのように交流を深めることができ、子どもの育ちに大きくつながっていることを実感し、私も大変嬉しかったです。また、年長組が互いのクラスで遊ぶ時間を設けたところ、他のクラスのアトラクションを「すごく楽しかった」「～がすごかった」など互いに認め合う言葉も聞かれて互いの良さを認め合う経験にもなりました。

そして、今年のこども広場では、数年ぶりになでしこ会の係の方が手作り作品を作って子どもたちに提供してくださいました。そのクオリティの高さに、子どもたちも大喜びで持ち帰りました。ご協力いただいたなでしこ会の皆様、ありがとうございました。

見学していただいた保護者の方から、高校生の文化祭みたいだとお褒めの言葉を頂き、大変励みになりました。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

＜幼児期の心と体の健康づくり＞

現在、幼児期の子どもたちの体に異変が起きているという指摘があります。日本スポーツ振興センターの「学校管理下の負傷・疾病の状況報告」でも怪我の発生件数が増加しているとの報告がされています。その原因は、

- ① ジャンプする経験が乏しく骨が弱くなっていること
- ② 起伏のある環境での外遊びの不足によりバランス感覚や調整能力が欠如していること等の指摘があります。

運動能力を向上させると、脳が発達し、物事に集中できる脳を育てることができると言われます。

間もなく運動会を迎えます。練習を通して、子どもたちがたくさん運動をして頑張る心と体を鍛えていきたいと思えます。

10月の目標

全学年

- 自分たちが育ててきた夏野菜の終わりを感じたり、さつまいもや稲などの収穫に興味をもったり楽しみにしたりする。
- 全員で運動会の醍醐味を味わう。
- 頑張る姿をお家の方に見てもらおう満足感を味わう。

年少組

- 保育者や友達のしていることに興味をもったり、様々な遊具や素材にかかわったりして夢中になって遊ぶ。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを言ったり、友達の思いも感じられたりようになる。
- 運動会に向けて体を動かして踊ったり、思い切り走ったり、みんなと一緒に行動することを楽しむ。

年中組

- 友達とのかかわりを楽しみながら、自分の思いを伝えたり、相手の思いも聞いたりして遊ぼうとするようになる。
- 繰り返し遊ぶ中で自分なりのやり方を試したり、工夫したりする。
- 運動会に向けて、いろいろな動きを試しながら体を動かしたり、思い切り走ったり、表現したりすることを楽しむ。
- みんなで一緒に取り組む中でルールを守って遊ぶ楽しさや必要性に気付き、勝ち負けのある競技に参加し、嬉しさや悔しさなど様々な感情体験をする。
- 安全に過ごす為の約束や決まりが分かり、自分から守ろうとする。

年長組

- 運動会を自分たちで進めようとする気持ちを持ち、学年の友達や教師と一緒に共通の目的に向かって活動を進め、友達の良さに気付いたり、認めたりする。また、力や気持ちを合わせる心地よさを味わう。
- 自分の力を出し切ったり、競い合ったりする中で嬉しさや悔しさを味わい、気持ちのコントロールをしようとする。
- 運動会に向けて、見通しをもちながら準備をしたり、生活を進めたりする。

調布幼稚園の自然と子どもたち

「残暑の中にも秋の気配が、、」

顧問 外崎明美

残暑厳しい二学期の始まりとなりましたが、子どもたちは畑で生い茂ったサツマイモの葉に来るバッタを捕まえたり、中庭の栽培物の変化に驚いたりしている様子がありました。子どもたちの「不思議」「驚き」「発見」をお伝えします。

キノコ発見 年中組

久しぶりの畑、年中さんが行ってみると、「せんせーい！キノコが生えてる！」キノコ発見！

台風明けの湿った畑に、キノコが生えたのでしょうか？「毒キノコかな？」「触らないほうがいい！」「食べられないよ」など、子どもたちと先生とで会話がはずみます。後日、「こんなキノコもあったらかわいい」と、自分の考えたキノコをみんなで作ってクラスの壁面になりました。（キノコは教員が取り除きました）



稲刈り 年長組

田んぼに水入れをし、泥混ぜをして、田植えをした稲が収穫の時を迎えました。全員でハサミで少しずつ稲狩りをしました。今後、脱穀をした後、みんなでおいごりを作って頂きます。



「枝豆が枯れてる」 年少組

春先き枝豆の種をまいて、育ててみんなでいただいた枝豆。まだ大きくなっていない枝豆を残していました。二学期になって「せんせーい、枯れてる」と、子どもたち。でも、豆の部分は何やら入っている様子。「開けてみようか」と担任が提案し、みんなで枯れた枝豆の鞘を開けると、「豆が入ってる」「種になっているのかな？」「食べた枝豆は緑だったよね」など会話が進み、種になっていることに気付く日が楽しみです。